ＴＡＫＡＭＡＴＳＵプロジェクト~Make　your　dream　take　wings~

目的：
「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。

※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。
（学力があってこその進学、人間力があってこその学力）

↓・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示＆調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
↓・職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
↓・生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得なども）

＊このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けて、生徒の学びの見取り図的なものです。

			キャリアプラン（キャリア・進路意識高揚）			キャリア意識に根ざした学習モチベーション／知識・思考力に根ざしたキャリア学習・探究学習	サクセスプラン（日々の学習）				
			全校	学年	目的（生徒視点）		教科学習・考査・校外模試	目的（生徒視点）	目的（教員視点）	支援 上位層	中下位層
１年時	４月	上旬		4/4入学式 4/8,9学習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 探究ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	飯田高校生として、どのように生活していくか（考え方も含め）どのように学習していくか、さらにキャリア教育の意義についても理解。	高校卒業後、また大学卒業後の自分をイメージすることにより学習のモチベーション向上	ﾌﾞﾘｯｼﾞ教材 4/5実力ﾃｽﾄ （ｽﾀﾃﾞｨｰｻﾎﾟｰﾄ）	中学時学習内容に抜けがないかの確認。	中学時学習内容に抜けがないかの確認。	PDCAサイクル、特に振り返りの重要性を意識づけ。	
		中旬		探究授業開始	1学年の探究活動を通して「問を立てる力」を醸成する。		4/15-19 面談期間	学習習慣の振り返りと，目標の設定	高校生活を開始するうえでの注意点の把握。集団傾向の見立て。	予習→授業→復習　のリズムを意識づけ。 適宜学習記録調査。 生徒の心配等を吸い上げ。	
		下旬	強歩大会	進路希望調査 （ｷｬﾘｱﾌﾟﾗﾝ）	自己の将来像を具体的にｲﾒｰｼﾞ開始。						
	５月	上旬		教育活動支援 ｼｽﾃﾑ ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	教育活動支援ｼｽﾃﾑの利用について理解。特に、学びの軌跡を電子ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵへと蓄積することの必要性・意義について理解。	学習習慣の確立 主体的 計画的 協働的な 学習生活の実現				長いGWの学習計画を確認。	
		中旬	南信総体							表層的な知識・理解に留まらない、思考判断表現・学びに向かう姿勢醸成の積極的な促し。	生活リズム（授業・課外活動・家庭学習…）について具体的な見立てと支援。家庭連絡日に向けて話題整理。
		下旬	PTA総会 ｸﾗｽﾏｯﾁ	5/18 学年PTA							
	６月	上旬	県大会 芸術鑑賞			知識・理解に根ざした傾聴力・思考力の向上	6/4-9 家庭学習 重点週間	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・ 内容定着の確認		
		中旬	北信越大会	先輩に学ぶ	年齢の近い卒業生というﾓﾃﾞﾙｹｰｽに接し、具体的な成功体験・失敗体験を知ることで、進路意識を深め、学習習慣を再確立。	知識・理解に根ざした	6/10-13 第1回考査				
		下旬	高松祭			主体的・協働的活動による集団としての力の向上					
	７月	上旬		7/8,9 信大説明会	地元国立大学の講義・説明に触れ、高校と大学の学びの違いを知り、進路意識を醸成。		7/6 進研模試	「大学進学」及び「全国」を意識。	「大学進学」及び「全国」を意識。		
		中旬				進学への具体的な情報と				夏休みを最大限活かすための具体的な提案。	家庭連絡日を有効活用。適宜補習。
		下旬				夏までの 学習をまとめ 生活を振り返り 集中学習や 体験に反映 視野を広げる 秋の課題明確化	7/22-26 面談期間	考査・模試等の結果を受けた学習習慣の振り返り。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認。		
	８月	上旬		夏の各種体験 ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ 就業体験 看護体験 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　等	ｷｬﾘｱ学習として、自分の進路に合わせた個別のｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽや就業体験で、視野を広げる。					・視野を広げるための具体的な提案・情報おろし。 ・時間を無駄にさせないための具体的な指導。	
		中旬									
		下旬					8/26 実力ﾃｽﾄ	夏休み中に取り組んだ内容の確認。	夏休み中に取り組んだ状況の確認	学習リズム・姿勢再確立。 学習集団再構築。	
	９月	上旬				将来像への道筋を知ることでの学習モチベーション向上	9/2-8 家庭学習 重点週間	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習リズム・姿勢再確立。 学習集団再構築。	
		中旬		探究学習 課題研究開始	前期に学んだ問を立てる力を活かし，個々の課題を見出し仮説を立てて結論を導き出す力をつける.		9/9-12 第2回考査				
		下旬		9/25 校外研修 科目選択説明会	大学を訪問し，大学生活や学問分野について知見を広げる。 2年時科目選択の知識・理解。希望進路をふまえ、建設的な選択へ。					考査・文理選択・模試…と連続するｲﾍﾞﾝﾄを意識した指導。 各教科においても成果・課題を洗い出し、計画調整と指導への反映。 必要に応じて補習等も。 考査・模試については「復習・振り返り」の重要性を改めて確認。	
	１０月	上旬	ｸﾗｽﾏｯﾁ			学習サイクル 再確立・補強 主体的かつ 協働的に 取り組む	10/5 駿台HL模試	この半年の変化や、高校生の学習ｽﾀｲﾙが身についているかを把握。よりﾊｲﾚﾍﾞﾙな視点で「全国」を意識づけ。	この半年の変化や、高校生の学習ｽﾀｲﾙが身についているかを把握。よりﾊｲﾚﾍﾞﾙな視点で「全国」を意識づけ。		
		中旬									
		下旬	教育懇談会					考査・模試等の結果を受けた学習習慣の振り返り。希望進路を確認し，文理選択を適切に行う。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認。希望進路を明確にさせ、文理選択を適切に行わせ		
	１１月	上旬					11/2 進研模試	苦手教科の現状と克服のポイントを明確にする。	苦手教科の現状と克服のポイントを明確にする。	志望系統・進学先を具体的に話題に。２年後から逆算した学習生活の計画。家庭連絡日活用。	講話等もきっかけにした意識変革を積極的に促し、教員としても変化をキャッチ。要学び直し分野の洗い出し。
		中旬									
		下旬				キャリア意識に根ざした学習モチベーション	11/25-28 第3回考査 11/18-24 家庭学習 重点週間	考査の結果を受けた学習習慣の振り返り。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認。		
	１２月	上旬		12/3 大学模擬講義	大学模擬講義の受講により、大学での学びを体験し、学習意欲向上のきっかけとする。	知識・理解に根ざした傾聴力・思考力の向上					
		中旬		小論文演習	単なる作文ではない，小論文作成の初歩を理解する。	「書く」経験による知識欲の向上	12/20-26 面談期間				
		下旬									
	１月	上旬	慰霊式			自己の 現時点の 力・姿勢を把握し	1/6 実力テスト	第3回考査以降に取り組んだ学習内容の確認	第3回考査以降に取り組んだ学習内容の確認	模試が連続し、かつ共通ﾃｽﾄ試験が行われているという好ﾀｲﾐﾝｸﾞを最大限活用。各自の達成目標を意識・計画させ、その振り返りもしっかりとさせる。	
		中旬	共通ﾃｽﾄ 試験				1/11進研模試	１年時の学習内容の総ﾁｪｯｸ。春休みへの指針とする。	１年時の学習内容の総チェック。春休みへの意識付け。		
		下旬				「表現する」経験による知識欲の向上	1/25 全統or駿台 模試				
	２月	上旬		探究学習 課題発表会	一年間行ってきた探究活動をまとめる力と，多くの人に自分の考えを理解してもらうためのプレゼンテーション能力を養う。					学習リズムとその成果課題について生徒自身のＣＡを促す。	要学び直し分野の洗い出し・気づかせ。
		中旬				将来像を 具体化し 目標を					
		下旬					2/25-28 第4回考査	授業内容のまとめ。1年間の学習習慣の振り返り。	授業内容のまとめ。1年間の学習習慣の振り返り。		
	３月	上旬	卒業式			知識を持つことでの傾聴力・思考力の向上		３月～２年時スタートへ向けた学習が効果的になるように、３月特編授業を計画		文理に分かれることの意味合いについて、過不足なく再確認。	
		中旬		探究学習 課題発表会 （代表者）	一年間行ってきた探究活動をまとめる力と，多くの人に自分の考えを理解してもらうためのプレゼンテーション能力を養う。また，発表を聴き疑問点を持ち質問する力を養う。	「書く」経験による知識欲の向上					
		下旬									